

具体的なデザイン手法としては、

- ・従来、エンジンをカバーしていたシート下方部を大きく削ることで、EVならではの広いフロアによる快適な居住性と、ライダーを大きく囲むボディパネルによって、シンプルで力強いシルエットを表現しました。

- ・荷台やフロアを水平基調にすることで、機能に忠実で、信頼できる道具としての普遍性を表現しました。



- ・全ての外装ボディパーツを着色ポリプロピレン製とすることで、ビジネスユースで起こりうる外観への傷でも、色剥げすることもなく、全体の印象を損なわないようにしています。

- ・足や荷物の当たる部分など、特に耐摩耗性を求められる部位には黒色リサイクル樹脂材を多用し、白いボディパネルと明確な色分けをすることでその機能を表現しました。

- ・使いやすい位置に配置された充電リッドは、コンセントをモチーフとしたピクトグラムを唯一の有彩色として配し、EV固有の「アイコン」として強く表現しました。これにより、配達先などにクリーンさを印象付けます。



これら固有の機能性や使い勝手を追及した各部はすべて、EVならではのインテリジェンスを感じさせるモダンでプレーンな面で形作られ、人々に役立ち、社会に受け入れられる「タフ&クリーン」なデザインを達成しました。

私達は、それが実際に使われ、人々の生活の中に溶け込み、街の景色の一つになった時こそが、本当の意味でEV-neoのデザインが完成する時だと考えています。